

令和6年度

西東京市公民館事業評価

令和8年1月

西東京市公民館

目次

令和6年度西東京市公民館事業評価表

令和6～10年度公民館事業方針概要・評価方針	1
＜学級・講座＞	
1-(1) だれもが学べる学習機会の提供	2
1-(2) 利用者をひろげる取組	3
1-(3) 学習ニーズの把握	4
1-(4) 地域課題等の取り上げ	5
1-(5) 協働・連携、協力の推進	6
1-(6) プロセス重視の運営	7
1-(7) 学習者の評価	8
＜施設管理＞	
2-(1) 学習環境の整備	9
2-(2) 防災	10
＜窓口業務＞	
3-(1) 学習情報整理	11
3-(2) 窓口対応における学習支援	12
＜広報＞	
4-(1) 公民館だより	13
4-(2) 幅広い広報	14
＜長期的視点＞	
5-(1) 学習の継続と成果	15
5-(2) 学びの還元	16
5-(3) 市民参加	17
5-(4) 地域の中での事業実施	18
令和6年度西東京市公民館事業評価（二次評価）付帯意見	19

令和6年度 西東京市公民館 事業評価表

令和6～10年度 公民館事業方針 概要

【基本目標】

市民とともにある公民館

【基本方針】

■開かれた公民館～あらゆる市民に向けて

- ・まだ公民館に来たことがない市民にも足を運んでもらえるように、気軽に参加でき、市民の関心にそのような多様で幅広い事業を行います。
- ・子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた事業を行います。
- ・市民の潜在的ニーズの把握に努め、現役世代や若い世代など、公民館の利用が少ない層に向けた事業に取り組みます。
- ・独居の高齢者、異なる文化背景を持つ人、障害のある人、困難を抱えている人など、社会的制約を受けやすい人、社会的に孤立しがちな人を対象とした事業に取り組みます。
- ・オンライン参加が可能な講座の実施や動画配信など、参加しやすい環境を整えた事業を実施します。
- ・市民が必要とする情報を手にすることができるように、また、公民館が届けたい情報を届けたい人に届けることができるように、市ホームページやSNSの活用をすすめ、広報活動の充実に努めます。

■問いかける公民館～地域・社会に向き合う

- ・市民が抱く疑問や漠然とした不安、直面する問題等を学習課題化し、学びの場を提案します。
- ・市民が主体的に学びを発展させていくことができるよう、継続的に学びの場を用意します。
- ・市民が学びを実践につなげていく営みを支援します。

■地域とともに～地域の中で、一緒に

- ・地域課題を学習課題化し、学びの場を提案します。
- ・学びを通して人と人が出会い、交流し、関係を育む機会を提供します。
- ・地域で活動する多様な団体・機関が関係を形成していくことを支援します。
- ・公民館の中にとどまらず、他の公共施設や公共的空間など、地域の中で事業を実施します。
- ・市民、団体、機関等と連携・協働して、事業に取り組みます。
 - 受講者や公民館で活動する団体が、公民館での学びや活動の成果を地域へと広げていくことを支援します。
 - 他課や関係機関と課題・目的を共有し、それぞれの独自性をいかして役割分担しながら、連携して事業に取り組みます。
- ・ロビーを、公民館施設内にとどまらない、地域へと広がる、まちの中での出会いと交流の場として活かしていきます。

評価方針

- ① 「西東京市公民館の事業評価のあり方について」に対する答申（平成23年4月27日）に基づき、公民館事業全体の総合的な評価を行う。
- ② 数値のみでは表せない視点を盛り込んだ実績も積極的に評価に取り入れる。
- ③ 評価内容は柔軟な評価を目標にして、定期的に見直しを行う。
- ④ 事業評価の内容を公開する。
- ⑤ 評価結果は今後の公民館事業計画及び運営に反映させる。
- ⑥ 持続可能な社会づくりの観点で評価する。
- ⑦ 市民本位の公民館経営における事業展開を適切に評価する。

評価について

西東京市公民館事業評価では、以下の3段階で評価しています。

A：達成している。

B：おおむね達成している。

C：達成していない。

公民館（一次）評価は、◇で評価した取組、◆で今後に向けた課題を記載しています。

公民館運営審議会（二次）評価は、◇で評価した取組、◆で今後に向けた課題、要望等を記載しています。

項番	1-(1)	項目	学級・講座	区分	個別事業
評価する内容					
<p>【だれもが学べる学習機会の提供】 社会的に制約を受けやすい人、社会的に孤立しがちな人への配慮も含め、幅広い対象に向けて、生涯にわたる学習の機会を提供することができたか。</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の利用が少ない年齢層も含めた幅広い講座を実施する。 ・育児中の夫婦と一緒に参加できるように、保育付きの連続講座の中の数回を休日を実施するなど、学習機会の充実に資する取組を実施する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、親子、青少年、高齢者、障がい者、外国人など、幅広い属性や固有の課題に応じた講座の実施 ・社会的に制約を受けやすい人、社会的に孤立しがちな人を対象とした講座の実施 ・学習支援保育付きの講座の実施 <p>【実施事業数及び参加者アンケートによる評価】</p>		
令和6年度の実績（公民館主催の講座 全87講座）					
<p>【生涯にわたる学習機会の提供】※対象者が複数の項目に該当する講座あり ・子ども対象 9件／青少年対象 6件／親子対象 15件／成人対象 45件／勤労者対象 2件／高齢者対象 5件／子育て中の保護者対象 12件／子育て中の女性対象 7件／女性対象 3件／男性対象 1件／障がい者対象 4件／外国人対象 1件</p> <p>【学習支援保育付き講座】 11件（柳沢・田無・芝久保・谷戸・ひばりが丘の5館で実施） ・共働き世帯を想定した短期の保育付き講座「子どもを取り巻く環境について考える講座」（柳沢公民館）のほか、長期・中期の保育付き連続講座の一部を公開講座とし、夫婦で参加しやすい日時で実施するなど工夫を行い実施</p> <p>【中学生・高校生等を対象とした事業、中学生・高校生がかかわる事業】 6件 ・「中高生が企画する小学生向け防災講座」（谷戸公民館） ・「夏の中学生ボランティア（SDGs サポーター編）」（田無公民館） ・「こわーいお話を聞く会」（ひばりが丘公民館） ・「K-POPを踊ろう！」（柳沢公民館） ほか</p>					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇子どもから高齢者までライフステージに応じた課題を取り上げ、幅広く講座を実施した。</p> <p>◇公民館の利用が少ない層に向けた事業として、中学生・高校生を対象とした事業や就労世代も参加できるよう、時間帯の工夫やオンラインを併用した講座を実施した。</p> <p>◇柳沢公民館で、共働き世帯を想定した短期の保育付き講座を実施した。また、柳沢、芝久保、ひばりが丘では、保育付き連続講座の中で夫婦で参加できる公開講座を実施した。</p> <p>◆引き続き、幅広い年齢層へ学習機会の提供ができるよう、ニーズや地域課題を捉えながら、講座を実施していく。</p>		A	<p>◇小中高生が参加する講座が各館で積極的に取り組まれた。谷戸公民館の「中学生・高校生が企画する小学生向け防災講座」や田無公民館の「夏の中学生ボランティア」など、継続的に子どもたちと公民館との関係が構築され、大いに評価したい。</p> <p>◇学習支援保育事業では、子育て中の市民の学習を支え、保育による子どもの成長と共に中味の濃い学習が展開されたほか、休日の公開講座実施など、共働き世代へのアプローチも、評価したい。</p> <p>◇芝久保公民館のロビーコンサートは乳幼児からシニアまで一緒に楽しめる地域の多世代交流の場として貴重である。</p> <p>◆保育付き講座の活用の中で社会的課題として女性の貧困、孤立等もクローズアップして欲しい。</p> <p>◆社会的な孤立の問題は高齢者から世代を広げ幅のある展開を望みたい。</p> <p>◆性別役割分業社会の中で男性特有とした課題があるのか探ってみてはどうか。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	1-(2)	項目	学級・講座	区分	個別事業
評価する内容					
<p>【利用者をひろげる取組】 公民館に足を運んだことがない人、公民館主催事業に参加したことがない人に向けての事業に取り組んだか。</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を初めて利用される方も気軽に参加できる講座等を実施、公民館に足を運んでいただき、公民館の活動を知ってもらう機会とする。 ・対象とする方の属性に応じて連続講座の実施回数や時間帯の工夫、対面とオンラインの併用など、講座に参加しやすい環境を整える。 			<ul style="list-style-type: none"> ・初めての方でも気軽に参加できる事業の実施 ・オンラインを併用した講座の実施 ・公民館主催事業に初めて参加した人の割合 【実施事業数及び参加者アンケートによる評価】 		
令和6年度の実績（公民館主催の講座 全87講座）					
<p>【気軽に参加できる事業として広く実施した事業】 40事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画上映会、音楽鑑賞、地域交流事業、趣味講座などの実施 「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」（柳沢公民館） 「人形劇フェスタ」（柳沢公民館） 「趣味の講座 ソラフラワーを作ってみよう」（田無公民館） 「サロンコンサート トリオで奏でる世代を超えた名曲たち」（芝久保公民館） ほか 【公民館の利用が少ない層に向けて実施した事業】 15事業 ・対面とオンラインを併用した講座 7事業 「ライフデザイン講座 仕事なんか生きがいにするな3」（柳沢公民館） 「子どもの課題を考える講座 不登校の子どもの寄り添うために」（ひばりが丘公民館） ほか ・動画配信を行った事業 6事業 「地域講座 警女唄が聞こえる」（保谷駅前公民館） ほか 【公民館主催事業に初めて参加した人が50%を超えた事業】 33事業 ・子ども対象 8件／青少年対象 3件／親子対象 5件／保育付き講座 5件／防災 3件／地域課題 7件／手工芸2件 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇オンラインでの参加が可能な事業を7事業実施した。</p> <p>◇事業実施後、報告動画を4本作成し、市ホームページ、市の動画チャンネルで配信した。</p> <p>◇スマートフォンやパソコンから参加申込ができるように申込フォームを活用し、利便性の向上を図った。</p> <p>◆新たな講座への参加やサークル活動など、新たな公民館利用につながるよう考え、工夫をしながら事業実施に努める。</p>		A	<p>◇これまで、講座の申込みは対面・電話での申し込みありきであったが、申込フォームの導入やオンラインで参加可能な講座も企画・実施し、講座に参加しやすい環境が整備されてきている。</p> <p>◆初めての方が参加しやすい事業に取り組む中で継続性を目的とした事業が減ることがないようにして頂きたい。</p> <p>◆「ひらかれた公民館」にしぼった事業についても検討してもらいたい。</p> <p>◆保育室見学会や専用ホームページを活用して公民館保育室の存在を積極的に広報し利用を広げてもらいたい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	1-(3)	項目	学級・講座	区分	個別事業
評価する内容					
<p>【学習ニーズの把握】 市民の多様な学習ニーズを把握し、学習の機会を提供することができたか。</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業計画に基づく講座の実施と合わせて、市民の学習ニーズの把握に努め、社会的課題や地域課題などをテーマとした新たな講座の実施にも取り組む。 			<ul style="list-style-type: none"> ・学習ニーズに応じたテーマの設定（子育て、環境、防災など） 		
令和6年度の実績（公民館主催の講座 全87講座）					
<p>【新たな課題やテーマを取り入れた講座（新規講座）】18事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを考える講座「なぜ子どもたちはうつむいて登校するのか～子どもを取り巻く教育環境について考える～」（柳沢公民館） ・地域防災講座「能登半島地震から学ぼうがまちの備え」（柳沢公民館） ・子育て中の女性のための講座（保育付き）「健康な身体をつくる～栄養学の基本・添加物のない調理・日常生活が楽になる身体の使い方～」（田無公民館） ・創作講座「植物の色を楽しむ草木染～西原自然公園の樹木と草花～」（芝久保公民館） ・教養講座「日本の伝統文化にふれてみよう ザ!和太鼓」（谷戸公民館） ・趣味講座「初心者のためのウクレレ講座」（ひばりが丘公民館） ・高齢者対象講座「基本から学ぶスマートフォン」（保谷駅前公民館） ほか 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇継続事業については、アンケートでの意見や公民館運営審議会での意見を反映し、より充実した講座運営に取り組つ、新たなテーマを取り入れた講座の実施に努めた。</p> <p>◆地域課題、学習ニーズの把握という点では、特別な取組は行っておらず、具体的なニーズ把握の方法について検討する必要がある。</p>		B	<p>◇子どもの貧困に向き合う講座など、新たな学習ニーズを取り上げ地域で学びたいと思う人へと展開されている。</p> <p>◆サークル交流会や利用者懇談会を活用して、市民の身近な問題や関心を共に考える機会をつくるように、各館での積極的な取組を望みたい。</p> <p>◆公民館は現代社会の講座など深い学習へのニーズは高い。主催講座として今後も取り組んで頂きたい。</p>		B

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	1-(4)	項目	学級・講座	区分	個別事業
評価する内容					
<p>【地域課題等の取り上げ】 地域課題や生活課題、社会的課題等を取り上げ、解決に向けた学習の機会を提供することができたか。</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
市民との関わりや情報収集する中で、地域課題等を把握することに努め、学習機会の創出や計画的な事業実施につなげる。			<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の取り上げ ・社会的課題の取り上げ 		
令和6年度の実績（公民館主催の講座 全87講座）					
<p>【地域課題・社会的課題を取り入れた講座】 項番（1）-3との重複あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを考える講座「なぜ子どもたちはうつむいて登校するのか～子どもを取り巻く教育環境について考える～」（柳沢公民館） ・地域防災講座「能登半島地震から学ぶわがまちの備え」（柳沢公民館） ・防災講座「明日の命を守るために、私たちができること 地震災害 ～火災編～」（田無公民館） ・現代的課題を考える講座（保育付き）「しあわせココロ学～人や社会への思いやり」（芝久保公民館） ・平和を考える講座「このまちにも戦争があった～中島飛行機武蔵製作所と空爆遺跡を辿るⅡ」（芝久保公民館） ・中高生が企画する小学生向け防災講座「避難所サバイバル」（谷戸公民館） ・子どもの課題を考える講座「不登校の子どもに寄り添うために～親の役割を考える～」（ひばりが丘公民館） ・社会問題講座「不登校の子どもたちと共に歩む社会」（保谷駅前公民館） ・多文化共生講座「避難民・難民支援から多文化共生、平和を考える」（保谷駅前公民館） ・高齢者対象講座「基本から学ぶスマートフォン」（保谷駅前公民館） ほか 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
◇地域課題や社会的課題、地域性などを踏まえ、継続的に多様な学習機会の提供に取り組んだ。 ◇柳沢公民館では、教育現場や現代の子どもの特徴という新たなテーマを取り上げた講座を実施した。 ◇平和について考える視点を取り入れた事業として講座2本、上映会&トーク2回を実施した。 ◆事業実施後のアンケート結果や課題、反省点を踏まえ、より充実した学習機会の提供に努める。		A	◇西東京市でも大きな課題である不登校に関わる講座は粘り強く継続してサークル活動を支えてきた。また、学校の理解を頂き学校配信システム「すぐーる」の活用もあり情報を必要としている家庭に届けることができ、評価したい。 ◆事業評価の基準で「学習ニーズ」と「地域課題」は実績評価がどちらも地域の課題に着目がおかれてきたが、今後は観点を整理していく必要がある。		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	1-(5)	項目	学級・講座	区分	個別事業
評価する内容					
【協働・連携、協力の推進】 市民・団体・機関等と連携・協働した事業を企画・実施することができたか					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
公民館で活動する団体や関係機関等と連携した事業に取り組む。			<ul style="list-style-type: none"> ・他課との協働・連携 ・他教育施設との協働・連携 ・他公共機関との協働・連携 ・地域団体等との協働・連携 ・公民館利用団体との協働・連携 ・地域の人材との協働・連携 		
令和6年度の実績（公民館主催の講座 全87講座）					
<p>【協働・連携により実施した事業】 71事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他課との協働・連携 8件 ・他公共機関との協働・連携 5件 ・市民団体、地域団体等との協働・連携 39件 ・地域人材との協働・連携 19件 <p>【社会教育課、図書館との連携事業】 1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内市立小学校、中学校、適応指導教室で「まちなか先生」事業による講座を実施 12件 <p style="margin-left: 20px;">西東京市かるた講座 小学校2件 郷土講座 中学校1件 平和講座 小学校3件、中学校2件 防災講座 小学校2件、中学校1件、適応指導教室1件</p>					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇サークル見学体験会やサークルとの共催講座など、全館で、公民館で活動する団体と連携した事業を実施した。</p> <p>◇必要に応じて関係機関の協力を得るとともに、公民館と関わりのある地域人材と連携しながら事業を実施した。</p> <p>◇社会教育課・図書館との連携事業として「まちなか先生」の講師及び講座内容を一部見直し、実施した。</p> <p>◆サークル及び地域人材との関係性を引き続き構築しながら公民館事業の充実に努めるとともに、関係機関と適切に連携を図る。</p>		A	<p>◇サークル見学会、体験会は、コロナ禍後に各公民館でサークルと共に開催し、新たな会員の獲得とサークル同志や公民館職員との新たなつながりを生み出している。</p> <p>◇陶芸サークル7団体との共催で実施した夏休みの陶芸体験講座では、多数の親子参加があった。他にも様々な講座において団体、サークルと連携した事業が展開されたことを評価したい。</p> <p>◆サークル、地域団体、関連機関との連携は、課題目標を共有した上でテーマによって共催か協力が公民館がすみ分けをして、今後も推進していただきたい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	1-(6)	項目	学級・講座	区分	個別事業
評価する内容					
<p>【プロセス重視の運営】 プロセス重視の事業企画・運営に努めたか 市民の主体性を尊重し、自治能力の向上につながる学習の支援ができたか</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
企画や準備の段階から、市民が参加する形態の講座や発表に取り組む。			<ul style="list-style-type: none"> ・準備会の実施 ・実行委員会形式による事業実施 ・参加型学習（グループワーク、ワークショップ等）の工夫 ・学習成果の発表 		
令和6年度の実績（公民館主催の講座 全87講座）					
<p>【準備会を取り入れた事業】 14件 ・「中高生が企画する小学生向け防災講座 避難所サバイバル」（谷戸公民館） ・「こわーいお話を聞く会」（ひばりが丘公民館） ほか</p> <p>【実行委員会形式により実施した事業】 9件 ・「田無公民館ロビーまつり」（田無公民館） ・「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」（柳沢公民館） ほか</p> <p>【参加型学習を取り入れ実施した事業】 50件 ・障害者学級「くるみ学級・あめんぼ青年教室」（柳沢公民館・田無公民館） ・防災講座「防災芋づる大作戦2025」（ひばりが丘公民館） ほか</p> <p>【学習成果の発表を取り入れた事業】 21件 ・中学生・高校生対象講座「K-POPを踊ろう！」（柳沢公民館） ・「子育て中の外国人女性のための日本語講座（保育付き）」（柳沢公民館） ほか</p>					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇事業の内容を踏まえ、適宜、準備会を行い、企画段階から市民参加を進めた。 ◇中学生が企画する小学生向け防災講座（谷戸公民館）では、事業の企画・運営だけでなく、学習成果を地域の大人へ発表する機会を設け、互いの交流を図った。 ◇こわーいお話を聞く会（ひばりが丘公民館）では、会場の装飾物を中高生が製作し（計4回延べ120人以上）、当日の会場づくりや運営スタッフも務めた。 ◆単なる受講ではなく、自ら参画することで、深い学びや達成感につながるよう、引き続き、市民の主体性を尊重しながらプロセスを重視した事業の実施に努める。</p>		A	<p>◇障害者学級では、重い障害の方も楽しく参加できるよう、学級生自身が活動内容を工夫し、主体性を尊重した取組の成果が出ている。 ◇中学生、高校生、高齢者など、講座の軸となる市民の主体性を尊重したプロセスが丁寧に組み込まれ、そこから発信されたエネルギーが世代を超えた交流や学習のうねりとなり社会生活の場へつながった。 ◇保育付きの日本語講座は、異なる文化背景を持つ市民と、共に生きる地域として向き合い、講師・職員と共にボランティアスタッフもチームとして学びの場をつくる運営が素晴らしい。 ◆学習者の主体性を尊重し、プロセスを大切にしていた講座は、今後も公民館の財産として継続してほしい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	1-(7)	項目	学級・講座	区分	個別事業
評価する内容					
【学習者の評価】 学習者は、どのような評価をしているか					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
講座等の実施後のアンケート項目や自由記載等から、受講者の評価、感想や意見の把握に努める。			<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの場を設定した講座の実施 ・アンケートによるプログラム・講師・運営に対する学習者の満足度 		
令和6年度の実績（公民館主催の講座 全87講座）					
<p>【振り返りの場を設定した講座の実施】 現代社会を考える講座、人権講座、人形劇フェスタ、保育付き講座、公民館まつり等 計24事業</p> <p>【アンケートによるプログラム・講師・運営に対する学習者の満足度】 ※参加者アンケートを実施した事業（講座）数 65事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの内容について、「満足」・「ほぼ満足」との回答を得た事業 65事業（100%） ・講師について、「満足」・「ほぼ満足」との回答を得た事業 59事業（90.8%） ・講座の運営について、「満足」・「ほぼ満足」との回答を得た事業 61事業（93.8%） <p>～参考～ 参加者アンケートの評価基準（A：満足 B：ほぼ満足 C：やや不満 D：不満）</p>					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇講座の最終回等に振り返りの場を設けるなど、受講者同士で感想等を共有し、今後の講座に活かすよう努めた。</p> <p>◇受講者アンケートでの満足度や感想・意見を把握し、事業の改善点を考察し、その後の講座実施につなげている。</p> <p>◆受講者アンケートにより、受講者の評価、意見、感想の把握に努める。アンケート回収率の向上を図るとともに、数字では現れない自由記述欄の重要な意見を見逃さず、職員間で共有する機会を設ける。</p>		A	<p>◇講座終了後のアンケートは、LoGoフォームも活用し回収率は高く、学習者の講座に対する評価も大変に高い。また、感想をまとめた通信（おたより）や振り返りの会は参加者の意見や感想が共有され、次の学習意欲につながる評価の場となっていて大変良い。</p> <p>◆単発の事業では受講者同志の感想の共有は難しいが、講座の中で時間をとる等、工夫して少しずつ積み重ねてもらいたい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	2-(1)	項目	施設管理	区分	環境整備
評価する内容					
<p>【学習環境の整備】 社会教育施設として、市民の主体的な学習活動を支援する環境整備に努めたか</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動室やロビー等、活動団体や市民が利用しやすい環境の整備を行う。 ・Wi-Fi環境を整備し、利用環境の充実を図る。 			<ul style="list-style-type: none"> ・団体連絡箱の適切な提供 ・備品の整備、更新 ・印刷機等の提供 ・ロビーの環境整備 		
実績					
<p>【団体連絡箱の適切な提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体連絡箱利用団体数（6館合計） 406団体 <p>【備品の整備、更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロビーチェアの購入（柳沢公民館） ・テレビの購入（芝久保公民館） ・スクリーンの購入（谷戸公民館） ・電熱式炉壇※の購入（ひばりが丘公民館） ※茶道具 <p>【印刷機等の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷機利用件数（6館合計） 972件 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳沢、芝久保、谷戸、ひばりが丘、保谷駅前公民館に新たにWi-Fiを設置した。 ・公民館6館すべてがクールシェアスポットとして位置づけられ、熱中症予防や節電にも貢献した。 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇利用団体からの要望も踏まえ優先順位を判断しながら、備品の整備更新に努めるとともに、来館者が利用しやすいよう、机及び椅子の配置の工夫を行うなど環境整備に努めた。</p> <p>◇既に設置されている田無公民館以外の5館のロビーにWi-Fiを設置し、利用者の学習活動等の利便性の向上に寄与した。</p> <p>◆引き続き、来館者の利便性を考えながら施設利用の環境整備を行う。</p>		A	<p>◇Wi-Fiが全館に整いロビーの机・椅子の配置も工夫されて、高校生から高齢者まで学習に利用する方が増えている。</p> <p>◇新たな備品設置では、これまでも着付けなどに必要な鏡や多目的な机の設置等、利用者の希望が反映されていて評価したい。</p> <p>◆公民館ロビーは、利用者が気軽に立ち寄れる多目的スペースとして設置されているが、その意味を改めて運営審議会と利用者懇談会での意見を取り入れて検討して欲しい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	2-(2)	項目	施設管理	区分	防災
評価する内容					
【防災】 防災・減災対策に取り組んだか					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
有事に備え、防災に向けた取組を実施する。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の実施 ・ 防災対応マニュアルの整備 		
実績					
【防災訓練の実施】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育引き取り訓練：柳沢公民館、田無公民館、芝久保公民館、谷戸公民館、ひばりが丘公民館 ・ 消防署員によるAED救護と初期消火訓練：田無公民館、芝久保公民館 ・ 公民館・図書館合同防災訓練：田無公民館、芝久保公民館、保谷駅前公民館 ・ 避難訓練：田無公民館、芝久保公民館、ひばりが丘公民館 ・ ビル管理会社主催避難訓練：保谷駅前公民館 ・ 利用者懇談会の中で避難経路の確認、消防署員によるAED操作研修等を実施：柳沢公民館、田無公民館、芝久保公民館、谷戸公民館、保谷駅前公民館 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
◇各館の実情に合わせ、計画的に防災訓練等を行った。 ◇各館、倉庫・備品庫を整理し、一時滞在施設開設のための防災備品（危機管理課提供）を保管した。 ◆各館で、職員・警備員や利用者を対象とした防災訓練等を実施するとともに、様々なケースを想定した対応マニュアルを整備し、いざという時のために備える。		A	◇各館の実情に合わせて実践的な避難訓練が行われ、利用者懇談会を活用した避難経路確認は利用者と一緒に考える良い機会となっている。 ◇一時滞在施設開設のための防災備品を受け入れるにあたり、保管スペース確保のため、団体備品を預けている利用団体との話し合いを丁寧に進めたことは評価したい。 ◆土曜日・日曜日・夜間の開館時は警備員と利用者だけの時間帯が多い。警備員と利用者だけの防災訓練についてシミュレーションはされているので、早く実践して欲しい。 ◆公民館は、災害時の一時滞在施設であるが、いざ、災害が起きたらどうするのか、地域の公民館としての役割を考えていく必要が出てきている。 ◆利用者懇談会や各館で取り組む防災講座も、より実践的な学びを望みたい。		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	3-(1)	項目	窓口業務	区分	学習相談
評価する内容					
<p>【学習情報整理】 学習情報の収集・整理・共有化を行い、市民の学習に繋がるような情報提供を行ったか</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
公民館登録団体一覧を適切に管理するとともに、市民へ情報提供等を行う。			<ul style="list-style-type: none"> ・公民館登録団体一覧の更新（年1回） ・団体の館内掲示物・配布物の整理・保管 ・公民館利用団体紹介ファイルの設置 		
実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館登録団体一覧の更新（年1回） ・全館に同一内容の閲覧用サークル紹介ファイルを設置 ・令和6年度の公民館登録団体一覧に公共施設予約管理システムへの登録更新結果を反映 ・サークル紹介紙を作成、配布（田無、芝久保、谷戸、保谷駅前） 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
◇公民館登録団体一覧やサークル紹介ファイル、ポスターの掲示、チラシの配架等により、団体及び学習情報の提供を行った。 ◇ひばりが丘公民館では、ロビーを活用しサークル紹介コーナーを充実させ、サークル見学会の報告等を積極的に行った。また、駅前のひばりが丘図書館と連携し、サークルの会員募集のチラシを掲載できるパネルを設置した。 ◆引き続き、団体及び学習情報の効果的な提供に努める。		A	◇サークル紹介ファイルは団体の個性が目にとまり来館者が手に取り新たに学びたい方の情報を得る手立てとなっている。 ◆職員が初めて来館した方やサークルを探している方とのコミュニケーションを広げる手段として、ファイルや一覧表を更に活用して欲しい。		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	3-(2)	項目	窓口業務	区分	学習相談
評価する内容					
【窓口対応における学習支援】 市民の学習の質を高め、継続的なものにすることができるよう学習相談を行ったか					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
公民館利用団体からの活動に関する相談や会員数の減少に関する相談に丁寧に対応するとともに可能な支援を行う。			<ul style="list-style-type: none"> ・公民館登録団体に関する情報提供 ・団体からの各種相談に対する対応 		
実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・書面による公民館登録団体の照会 235件 ・会員募集を行う公民館利用団体を支援する取組 <ul style="list-style-type: none"> サークル見学月間・1日ロビー見学体験会（田無） サークル見学体験会（田無、芝久保・谷戸、ひばりが丘） 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
◇窓口及び電話で、市民の学習ニーズ等に応じて、団体情報の提供や講座の案内を中心とした学習相談を行った。 ◇谷戸公民館でも新たにサークル見学体験会を実施し、5団体10名の新規入会があった。 ◇学習相談事例を共有する機会として、全職員が出席する6館会議で情報交換を行った。 ◆各館の状況に応じた方法で、公民館利用団体の会員増につながる取組を引き続き行う。		A	◇公民館主催のサークル見学会・体験会によってサークルや団体同士の交流が生まれ、職員との関わりも増えた。窓口では安心して連絡先のやり取りができ新会員加入につながる等、既存のサークルや団体の活動を活性化した。 ◆今後、新たにサークルを作りたい方や発足したばかりの団体へのサポートも視野に入れて、学習支援に取り組んでもらいたい。		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	4-(1)	項目	広報	区分	広報
評価する内容					
【公民館だより】 公民館だよりを通して、市民に公民館や地域に関する情報を発信したか					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
編集委員会を通じて分かりやすく興味を引くような紙面構成をするように努める。 令和7年度の抜本的な紙面構成の改善に向けた準備を行う。			<ul style="list-style-type: none"> ・掲載記事の内容 ・読者（市民）の声 		
実績					
<p>【特集記事】 公民館主催事業の報告記事（4月号） 保育付き講座のお知らせ（5、9月号） 夏休み子ども向け講座（7月号） 事業企画への関りを呼びかける記事（10月） 公民館に関わる高校生へのインタビュー（2月号）</p> <p>【コラム記事】 ミニ紙面講座2回、講座報告2回、保育室に関するコラム1回、中学生ボランティアの活動報告1回</p> <p>【その他】 特集の関連記事（インタビュー） 1回、サークルに関する記事 2回</p> <p>【公民館だより編集室会議】 11回開催</p>					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇主催事業募集記事の掲載方法を工夫することにより、限られた紙面の中でも、地域に関する情報や市民の交流につながる情報等を掲載した。</p> <p>◇公民館だより編集室会議において、紙面刷新の検討を重ねた結果、令和7年5月号からフルカラー版で全戸配布が可能となった。</p> <p>◆公民館の広報だけでなく、地域に関する情報提供や市民の交流につながる紙面づくりに努める。</p>		A	<p>◇公民館だよりは誰でもいつでも学ぶ機会を発信し続ける役割を担い、全戸配布であることは大きな価値がある。</p> <p>◇限られた紙面でも必要な情報が見やすく盛り込まれていて、特集記事のサークル活動や高校生の体験記事は興味深く、川柳や地域の情報が市民交流をつなぐ等、内容も濃く大いに評価している。</p> <p>◆新しくなった「公民館だより」では、歴史ある「公民館だより」の歩みにもスポットを当ててほしい。</p> <p>◆保育付きの講座は各館で開催時期が重なる。QRコードでまとめて閲覧可能にして子育て中の方が情報を受け取りやすいようにしてほしい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	4-(2)	項目	広報	区分	広報
評価する内容					
<p>【幅広い広報】 市ホームページやSNS等の公民館だより以外の媒体を活用した広報活動に努めたか</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
<p>・市ホームページやSNS等を活用して、様々な手段で情報が伝わるよう広報の充実に努める。</p>			<p>・市ホームページの活用 ・SNSの活用 ・その他、公民館だより以外の媒体を使用した広報活動</p>		
実績					
<p>・市ホームページ上に公開した実施事業の動画 3件 ・市SNSを利用した事業案内 合計 延べ76件 X（旧ツイッター） 25件 フェイスブック 21件 ライン 24件 ・教育現場向け連絡システム（すぐる）による事業の周知 2件 ・FM西東京による公民館事業の広報 12件 ・LoGoフォームで申込受付を行った事業 59件 ・地域コミュニティアプリ、ピアツザで情報発信を行った事業 20件</p>					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇ヤギフェスの紹介動画を作成し、アスタビジョンで宣伝した。 ◇公民館だより2月1日号の特集記事について、紙面で紹介できなかった取材内容を市ホームページで紹介した。 ◇一部を除き、多くの講座でLoGoフォームによる参加申込の受付を実施した。 ◇公民館だよりの「おたのしみ川柳」に掲載した3句を市のSNSにも掲載し、公民館の取組を周知した。 ◆市のSNSについて、より効果的な活用方法を検討する。</p>		A	<p>◇ほとんどの講座がLoGoフォームで申し込み可能となり、新たな参加者の呼び込みにつながった。また、学校に協力頂いた「すぐる」での配信は、これまで以上の手ごたえとなった。 ◇市ホームページ配信、SNSの利用、アスタビジョンでの宣伝と、多岐にわたる積極的な取組がされた。 ◇「公民館だより」に掲載しきれない内容をホームページに載せることで、厚みのある広報となり評価したい。 ◆情報アンテナの高い方にはスピード感があるSNSでの情報発信が効果的と考える。公民館として、より有効なツールを今後も探してほしい。 ◆講座申込の抽選で漏れた方に、その後の知りたい情報が届くような仕掛けを考えてもらいたい。 ◆チラシ・ポスターは、広く誰でも手に取れる確実な手段なので、今後も目を引くデザイン等、工夫して頂き、じっくり深く相手に伝わる記録誌や記念誌の生かし方も考えてもらいたい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	5-(1)	項目	長期的視点	区分	単年度学習成果
評価する内容					
<p>【学習の継続と成果】 事業参加者の学習活動の総括・学習成果の発表・学習の継続を支援したか</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
<p>学びを振り返り、学びを深める機会として、学習活動のまとめや学習成果の発表を行うことともに継続して学ぶことへの支援も行う。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・学びの振り返りの会の実施 ・記録誌、記念誌の発行 ・学習成果の発表 ・主催講座からサークル化した団体数 		
実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの会の実施 17件 ・公民館保育室活動の記録誌発行 8冊 ・主催講座の記録誌発行 9講座（保育付、人形劇、現代的課題、高齢者の課題、農業、防災、文章、周年） ・まつり記念誌発行 4冊 ・ロビーにおける主催事業の学習成果の発表 7事業 ・公民館だよりにおける主催事業報告 5回 ・サークルの発足 12団体 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇創作や楽器など実技的な講座や保育付き講座のほか、防災講座、高齢者の課題、不登校、子どもの貧困等、地域課題・社会的課題を取り上げた講座や親子対象講座（かるた）などをきっかけとして、12の自主サークルが発足した。</p> <p>◇記録誌の発行は、事業ごとに、作成する意味や成果物の役割について参加者それぞれが再確認する時間を設ける一方で、ページ数の削減や作成時期の前倒しなどに取り組んだ。</p> <p>◆引き続き、自主サークル化、記録誌の作成、発表、振り返りの会など、発表等の場の創出や学びを深める取組を支援する。</p>		A	<p>◇ロビーを活用した学習成果の発表、また、多くの講座で行われた振り返りの会のほか、利用者懇談会や見学会ではサークル同士の交流を呼びかける等、様々な支援がされていた事は評価できる。</p> <p>◇多くの講座で学習テーマを継続しつつ、次への展開を支援して、自主サークル化につながったことを評価したい。</p> <p>◆利用者懇談会は、公民館からの事務連絡、情報提供で終わらず、サークル間での活発な交流で刺激し合い、活動継続の力になってきた。今後とも取り組んでいきたい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	5-(2)	項目	長期的視点	区分	経年学習成果
評価する内容					
<p>【学びの還元】 公民館で長期的な活動を行う市民・団体を支援し、その学習成果が地域にも伝わるような機会を設ける</p>					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
<p>多様な方法で公民館に関わりのある個人、団体の学習成果が地域にも開かれて伝わるような取組を行う。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・市民・団体との協働・連携による事業実施 ・公民館まつり等の地域交流事業の実施 ・公民館ロビーでの展示、発表 ・市民企画事業の実施 		
実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・市民、団体との協働・連携による事業 40件 ・学習成果の地域還元該当する地域交流事業の実施 10件 ・ロビーにおける市民団体による学習の成果発表数 <ul style="list-style-type: none"> 団体主催 11件 公民館主催 11件 ・市民企画事業の実施 21件 ・公民館主催講座で学んだ市民の地域活動を支援する事業 1件（BOSA Iカフェ） ・まちなか先生 4種類の講座（講師：地域団体 1講座、地域人材 3講座）を小学校7校、中学校4校、適応指導教室1室で合計16回実施 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇谷戸公民館では、実行委員会主催の谷戸まつりの事務局を担い、多くの中高生がスタッフとして関わるイベントの実施を支援した。他5館では、公民館主催で実行委員会方式により地域交流事業（公民館まつり等）を実施した。</p> <p>◇公民館で活動する自主サークルが企画、運営に関わり、講師等も務める講座（柳沢・保谷駅前公民館）を実施した。</p> <p>◆日頃から市民団体や地域人材との関係づくりを行い、学習成果の還元や地域活動の支援をする。</p> <p>◆市民企画事業の周知を強化する。</p>		A	<p>◇市民企画事業は、市民が企画立案し公民館がサポートする学習形態の事業となっており、特色ある講座や視点も多く市民が企画した学びを地域へつなぐ事業となっていて評価したい。</p> <p>◆市民企画事業をさらに周知し、多くの団体が参加できるようにしてもらいたい。また、団体・サークルが普段の活動からもう一步踏み出して、学びの視野を広げる機会となる事業なので、公民館として「何のためにやるのか」問うていくことが重要な役割となる。</p> <p>◆「学びの還元」は、主体となる個人や団体の学びが、多様な形で地域の中に活かされる機会を支える取組であり、その意味を再確認する必要がある。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	5-(3)	項目	長期的視点	区分	地域づくり
評価する内容					
<p>【市民参加】 市民本位の公民館運営の実現のために、館の運営及び事業の企画・運営への市民参加を促進したか ※事業の企画・運営への市民参加については、評価項目(1)-6 【プロセス重視の運営】を参照</p>					
令和6年度の目標(課題)			評価指標		
公民館運営審議会からの意見を踏まえ、利用者懇談会の充実に努める。			<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会の開催 ・利用者懇談会の開催 		
実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会の開催 10回 ・公民館運営審議会の傍聴 延べ16人 ・全館で年2回の利用者懇談会を定期開催 ・対象者別利用者懇談会の開催 柳沢4回(陶芸3回、工作室1回)、田無1回(調理)、芝久保1回(陶芸)、ひばりが丘1回(麻雀) 					
公民館(1次)評価			公民館運営審議会(2次)評価		
<p>◇公民館運営審議会からの意見を踏まえ、利用者懇談会を参加者同士の情報交換や交流を図ることができるようなかたちで実施した。また、参加者が公民館に要望するだけでなく、館の課題やマナー等について、参加者同士で考え、意見を交わせるよう心がけた。</p> <p>◆館の運営に関する意見や利用者の情報交換等の場として、引き続き全館で利用者懇談会の充実に努める。</p>		A	<p>◇利用者懇談会は公民館について学び、サークルを越えた人と人がつながる大切な会として長期的に取り組まれてきた。今年度グループワーク等利用者同士の交流が全館で行われ、利用マナーについても語り合い公民館への親しみやサークル同士の理解を深めた。また公民館主催事業や担当職員の紹介等、運営が見える報告もあり、今後、地域の課題や事業を利用者と共に考える土台作りとなった。</p> <p>◇公運審委員の利用者懇談会参加と協力は、公運審の存在を伝え市民と公民館の架け橋として継続。</p> <p>◆これから公民館を利用したい方が参加しやすくなるような有意義な利用者懇談会を目指して職員間、公運審委員間で随時利用者の声を共有していきたい。</p> <p>◆今年度も公民館運営審議会の傍聴は必ずあり、公民館に対する高い関心を頂いている。傍聴者の感想意見を伺う機会を持つ等、傍聴の敷居を低くして身近な審議会を求めたい。</p>		A

※ 評価欄 A~C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

項番	5-(4)	項目	長期的視点	区分	地域づくり
評価する内容					
【地域の中での事業実施】 公民館の施設にとどまらず、まちの中で主催事業を実施したか					
令和6年度の目標（課題）			評価指標		
地域人材や地域団体等と協力しながら、地域の中で事業を実施し、公民館が地域の中での学びや人と人とのつながりに寄与する。			・他施設を利用した主催事業の実施		
実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・他施設等を利用した主催事業の実施 16件 公園等 4件、農地 2件、公共施設 2件、教育施設 3件、まち歩き 2件、その他 3件 ・「まちなか先生」事業による講座の実施 12件 西東京市かるた講座 小学校 2件 郷土講座 中学校 1件 平和講座 小学校 3件、中学校 2件 防災講座 小学校 2件、中学校 1件、適応指導教室 1件 					
公民館（1次）評価			公民館運営審議会（2次）評価		
<p>◇日頃からの関わりの中で、築いてきた地域人材や地域団体等と協力しながら、地域の中で事業を実施した。</p> <p>◇まちなか先生は、昨年度を3年の区切りとして、今年度から新たな講師陣（公民館の講座から生まれた団体や市民活動をしている方）を迎えた。職員体制や資料の印刷数など運営方法も効率化し、事務負担の軽減を試みた。</p> <p>◆西武池袋線以北の施設を利用しての出張講座の実施を検討していたが、実現には至らなかった。</p>		A	<p>◇「まちなか先生」事業は、運営の負担軽減を図りながら、新たな講師として講座から生まれた団体や市民活動されている方を迎えて展開され、評価する。</p> <p>◇6館ある公民館それぞれ地域の市民や団体と協力して、身近な公園や施設を活用し興味深い事業が実施されていた。</p> <p>◆「まちなか先生」事業の講座実施にあたっては、学校や児童生徒と市民をつなぐための丁寧な準備、調整が必要であり、今後も運営方法等を工夫しながら、継続して実施して頂きたい。また、この事業の中で、子どもたちに公民館を知ってもらい、子どもたちが公民館に興味を持ってもらえる仕掛けを試みて欲しい。</p> <p>◆西武池袋線以北の地域性を課題とした北部地域の施設活用も含め、魅力ある取組を期待したい。</p>		A

※ 評価欄 A～C A・・・達成している B・・・おおむね達成している C・・・達成していない

令和7年12月20日

公民館長 近藤 直 殿

西東京市公民館運営審議会

会長 小須田 厚子

令和6年度西東京市公民館事業評価（二次評価）付帯意見

令和6年度西東京市公民館事業評価の二次評価について、公民館運営審議会での議論を行う過程において、各委員から出された付帯意見を下記の通り示します。

記

令和6年度「市民と共にある公民館」を基本目標とし「開かれた公民館」「問いかける公民館」「地域とともに」の方針に「つどいまなびつながる」を合言葉として、これまで以上に準備会、振り返りの会、実行委員会、利用者懇談会等、市民と一緒に考える学びの機会を各公民館が展開し、多世代の参加を促した夜間・土日の講座開催、防災講座やまちなか先生では地域とつながる展開と各項目で高く評価しています。

社会教育としての学びが花ひらくここ数年の公民館事業です。持続発展可能としていくために以下の課題を提案させていただきます。

1. 市民の主体性を尊重した学びの循環は、職員の専門的な支援は欠かせません。今後も専門性の高い支援を継続するため、職員間での情報共有や研修の充実を求めます。
2. 夜間、休日の講座や地域団体や機関と連携した事業発展のため準備・交渉・運営等大変な事務量となっています。高い評価に即した事業運営を保障するための体制の充実を求めます。
3. 近年、気候変動や頻発する地震に伴い災害対策への意識が高まっています。地域の公民館としての役割を発展させ、防災講座のさらなる充実等、災害対策への意識の高まりに応じた取組を期待します。
4. 利用者の声・地域の課題や時代・環境の変化にも対応した事業を推進していくために、評価項目・課題改善の意見が多く出されました。事業計画の目標を踏まえた上で、更に充実した事業が展開されるよう、事業評価の最適化を求めます。